

## 9/21 集中豪雨で被災地に甚大な複合被害

## 集中豪雨災害で全力で支援を行ってきました

震災被害地の奥能登地域の輪島市、珠洲市、能登町は、9月21日の線状降水帯による集中豪雨災害で、今年1月元旦の震災に加え、さらに追い打ちとなる集中豪雨の複合災害にみまわれました。

能登半島地震被災者共同支援センターとしても、改めて、豪雨災害でお亡くなりになられた方、被災された方に弔意とお見舞いを申し上げます。

共同支援センターは、豪雨災害の状況把握に努め、「センターニュース」緊急号外を3号まで発行して、豪雨災害の惨状を全国に発信して被災地救援を訴え、被災された方々への緊急支援物資のお願いを、全国に緊急に要請して、寄せられた支援物資の配布などに、全力を尽くしてしてきました。

おかげさまで、全国からお水、お米はじめ、衣類、タオル、レトルト食品、生活必需品などの多くの支援物資、多くの支援をいただきました。改めて、この場をお借りして、全国からの支援に感謝を申し上げます。線状降水帯による集中豪雨災害は、奥能登被災地に

甚大な被害をもたらしました。

新たに豪雨災害で、死者15人、負傷者45人となりました。住宅被害・全壊16棟、床上浸水318棟、床下浸水1055棟の被害でした。避難所32カ所・393人(10月16日現在)という状況です。さらに、震災で今だに、避難所に12カ所・126人、2次避難所のホテル・旅館に42人避難されています。

さらに、道路被害も、直近でも、国道県道の通行止め16路線、26カ所に及びます(10月16日現在)。森林崩壊は、山腹崩壊16カ所、林道崩壊が73カ所、港湾の土砂流入・流木漂着(鹿磯漁港・狼煙漁港など)山崩れ・土砂崩れ・流木流出被害も甚大で、県管理河川だけで、12河川に被害が及びました。がけ崩れ・土石流・地滑りが、39カ所に及びました。

農業被害も甚大です。どの程度の田畑が被害を受けたのかは調査中で、発表すらされてません。山腹崩壊で、土砂と流木が、中河川に流れ込み、河川氾濫で、周辺の流域の広い面積の田んぼに土砂と流木が流れ込

み、甚大な被害です。農民連の調査に住民は、「刈り取りが完了していた田圃は一部で、大半の田んぼは流木と土砂の流れ込みで、刈り取りはおろか、田の畔の崩壊で来年の作付けも難しいのでは」と話します。

震災後、完成して入居されていた仮設住宅の床上浸水だけで、6団地(輪島5団地、珠洲1団地)となりました。輪島市に新たに2カ所・116戸の仮設住宅を建設の予定ですが、完成は早くて来年2月です、床上浸水した仮設住宅の建設地は、ハザードマップの水害浸水警戒想定区域に建設された仮設住宅でした。

床上浸水した仮設住宅の入居者は、避難所にまた逆戻りだったり、空いている別の場所の仮設に引っ越しせざるをえなくなり、大きな負担になっています。仮設を訪問してお話を聞いた方は、「避難所を転々として、ようやく9月中には仮設に入居できた矢先、1週間、この水害で床上浸水です」「2度の被災で本当に心が折れた、水害は震災よりひどい」と話されて、「震災ではまだ壊れた家のものを少しは取り出せたが、

水害はすべてのものが使えなくなり、本当に支援物資は何でもありがたい」と渡した支援物資に大変感謝されています。

長野県・佐久地区からのボランティアの方々、2トントラックで支援物資届け、仮設訪問・配布の打合わせ



たくさんの支援物資が全国から寄せていただいています。支援物資配布のボランティアの手が足りません。冬の期間になる前の

## 全国からボランティア大募集

(遅々として進まない復興の現状、被災地の状況の視察もしてほしいです)

\*12月以降、車でのお越しの方は  
スタッドレスタイヤ装着で

全国から 生活支援物資をお寄せください ボランティア活動にぜひお越しくください